

留学生の声

## 憧れのフランス語

工学部 建築建設工学科 3年  
アンドレ・マヒンドラ (Andre MAHINDRA)

私は編入学で福井大学に入りました。大学に入る前には、2年間専門学校で勉強していました。専門学校では、外国語の授業は全くありませんでしたので、福井大学に入ってから、卒業のために外国語の授業を受けなければならなくなりました。

私は福井に来る前に大阪に住んでいて、そのとき3年間留学生の寮に入っていました。私がいた寮は様々な国からの留学生が集まっている寮だったので、色々な国から来ている友達がたくさんできました。初めて日本に来た頃、私はまだ日本語が話せなかったもので、日常会話では英語しか使いませんでした。しかし、この寮で私が驚いたのは、英語だけでなく、色々な国の言葉が話せる人が結構いたことです。中には4カ国語、5カ国語も話せる人がいました。その時私は、いつか私も4カ国語ぐらいはしゃべれるようになりたいと、強く思いました。

高校の時、ある地理の授業でフランスのエッフェル塔についての話が出てきました。その時からだんだんフランスに興味を持つようになり、いつかフランス語を習おうと考えるようにもなりました。しかし、その時の私は、英語だけでも苦手なのにほかの言語を学ぶなんて無理に決まっているじゃないか、と思っていました。それに機会もあまりなかったので、フランス語を習おうという話はそれで終わってしまいました。

ところが、大学に入ってみると、フランス語を習うチャンスがあることが分かりました。そこで私は、共通教育の第3分野として開講されている、「教養フランス語」を受講することにしました。フランス語は英語と似ている言葉がたくさんありますが、発音や文法は別だから難しいところもたくさんあると思います。もちろん書く練習と読む練習だけでなく、話す練習も重要だと思います。言語というのは実際に使ってみないと上手にならないと思います。ですから、上手になるには、どんどん使っていくしかないと思います。

自分の国から出ると、色々な国の人と出会うため、そこでできるだけ色々な言語が話せればたくさんの人とコミュニケーションができると思います。私も若いうちにいっぱい言葉を覚えて、マルチリンガルになりたいと思います。